

2012年度第2回KFAWアジア研究者ネットワークセミナー  
「リオ+20・ジェンダー・北九州の関わり」(2012年10月4日)

「リオ+20～開発目標と市民参加の視点から」

特定非営利活動法人 北九州サステナビリティ研究所 理事 太田 まさこ

**世界の貧困状況**

- ・世界人口のうち、1.25ドル未満で暮らす人は22%、2ドル未満で暮らす人は43%

**リオ+20のテーマ**

- ・持続可能な開発および貧困根絶の文脈におけるグリーン経済
- ・持続可能な開発のための制度的枠組

**成果文書「私たちが望む未来」(The Future We Want)**

- ・グリーン経済は、持続可能な開発を達成するうえで重要な手段であると認識し、国ごとに適切な取り組みを進める
- ・2015年以降の「持続可能な開発目標(SDGs)」を策定に合意、政府間交渉プロセスを立ち上げる  
など

**国連ミレニアム開発目標(MDGs: Millennium Development Goals)**

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
2. 初等教育の完全普及の達成
3. ジェンダー平等推進と女性の地位向上
4. 乳幼児死亡率の削減
5. 妊産婦の健康の改善
6. HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止
7. 環境の持続可能性確保
8. 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

**持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)**

- ・2015年を目標達成年としているミレニアム開発目標(MDGs)後の、開発目標
- ・コロンビア、グアテマラ、ペルーが提案
- ・持続可能な開発への政治的コミットメントを確保するための具体的な方法として
- ・新たな分野として、水資源、エネルギー、海洋、森林、生物多様性など

#### 持続可能な開発目標策定への指針（「私たちが望む未来」より）

- ・ 持続可能な開発の 3 つの側面（経済、社会、環境）とその関連性においてバランスがとれたもの
  - ・ 単純で分かりやすく、行動を促すもの
  - ・ 世界各国共通に摘要できるもの
  - ・ 目標策定はオープンで透明性の高いプロセスで行う
  - ・ 作業部会、専門家会合を秋までに設置
- 2013 年の国連総会に議論を報告、項目や数値目標を決定  
→2015 年以降に実施

#### ポスト 2015 年開発アジェンダに関するハイレベル・パネル

- ・ 共同議長  
ユドヨノ大統領（インドネシア）（事務総長）  
サーリーフ大統領（リベリア）  
キャメロン首相（イギリス）
- ・ 管前首相を含む 23 名のパネル
- ・ 国連から 1 名
- ・ 第 1 回会合が、9 月 25 日に開催された

#### 日本の動き

- ・ ポスト MDGs コンタクト・グループを設置
- ・ 第 67 回国連総会で、サイドイベント「ポスト 2015 年開発目標に関するハイレベル・パネルとの公開対話」開催

#### 一市民としての関わり方

- ◆ リオ+20 で
  - ・ 持続可能な開発ダイアログ
  - ・ SD ラーニング
  - ・ 藩基文事務総長と NGO のミーティング
  - ・ 外務省と NGO のミーティング
  - ・ メッセージの発信
- ◆ 成果文書へのコメント
- ◆ 世界の人びととのつながり
  - ・ ポスト MDGs に関する外務省・NGO 意見交換会
  - ・ UN Sustainable Development Knowledge Platform
  - ・ 市民社会によるフォーラム、キャンペーンなど